

令和 6 年 5 月 14 日

令和 6 年度第 2 回理事会・第 1 回合同会議議事録

日 時：令和 6 年 5 月 14 日（火）

第 2 回理事会 18 時 30 分～19 時 45 分

第 1 回合同会議 19 時 45 分～20 時 30 分

会 場： オンライン会議室（ZOOM 使用）

出席者：中川理事長、射場副理事長、井阪副理事長、中野理事、工藤理事、鈴木理事、
都留理事、千葉監事、田箆局長、辻岡局長、本田先生（オブザーバー）、総務部中平

欠席者：實光理事、早瀬局長、安積局長

書 記：中平

令和 6 年度第 2 回理事会議題

（1）承認事項

ア 令和 6 年度第 1 回理事会議事録

資料参照の上、承認された。

（2）報告事項

ア 各局事業進捗報告

井阪副理事長より総務部、財務部の進捗状況について資料に基づいて報告があった。

総務部は公文書発行が依頼 47 件、委嘱状 3 件、各種領収証の発行依頼が多数となっていること、第 6 回定期総会に向けての準備を行っていることが報告された。財務部は令和 5 年度の決算処理が終了したこと、令和 6 年度の財務処理に関する連絡方法を整備していること、また令和 5 年度の事業会計監査を実施したこと、各支部の新人症例発表会事務局との財務処理の会議を予定していることが報告された。

井阪副理事長より情報管理局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。

SM 部はセンターホームページの管理運営について研修会・学会およびセンター主催研修の広報を継続すること、生涯学習研修集会の広報におけるプッシュ通知機能を強化すること等が報告された。ニュース編集部は府士会ニュース 303 号の校正、304 号の原稿とりまとめ、SE 部は大阪学会のサポートについて実施報告があった。

中川理事長より、以前からの提案事項であるセンター独自のニュースを発行することについて、早急に整備を進めることを指示された。

田箆局長（生涯学習局）より生涯学習局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。

研修事業はセンター主催研修会を 4 件開催したこと、後期開催分の日程、テーマを決定し公開の準備を進めていることが報告された。

研修部は 4 月 30 日時点の Webinar の申し込み人数の報告があった。また 5 月 11 日担当分は講師都合により 6 月に延期となり、申し込み変更、キャンセル対応を行っていることが報告された。受託研修部は 2024 年度上半期理学療法士講習会が開始されたこと、下半期の募集が開始されたこと、次年度版認定カリキュラムホームページが完成し、先行して大阪士会会員

を対象として申し込みが開始されたことが報告された。

学術誌編集部は「総合理学療法学」について論文査読・審査・修正中（4件）、早期公開（2件）が報告された。

中川理事長、射場副理事長、鈴木理事より、研修集会のWebinarの申し込み人数が少ないことについて質疑がなされた。田籠局長から会員への周知が不足していること、申し込み手続きがやや煩雑であること、参加費のことについて要因の分析が報告された。工藤理事から1セミナー150名程度の申し込みを予測していたこと、SNSでの発信はセンター主催研修会よりも多く行っていること、アーカイブがあることの周知が不十分であったことから追加して周知を強化して対応していることの報告があった。中川理事長より、ホームページの検索アクセス数などのデータを解析してみることにについて指示された。

辻岡局長(教育局)より教育局の進捗状況について資料に基づいて報告があった。学術大会部は第36回大会の運営局との打ち合わせを実施、第37回大会の準備委員長、局長、部長の選出の促し、ロードマップ、マニュアルの調整を行ったことの報告があった。

臨床実習教育部は、令和7年1月25日26日に臨床実習指導者講習会を開催する計画を進めていること、実習前OSCEについてWGを定期的に開催していること、Basic講習会の準備を進めていることについて報告があった。研修理学療法教育部は、前期研修立案と案内開始、新人症例発表会改定マニュアル運用開始、後期研修主催症例検討会の発表登録運用開始、案内開始について報告があった。

イ 総合理学療法学プレゼンス向上委員会 中間報告

鈴木理事より総合理学療法学プレゼンス向上委員会で検討した内容に関して報告があった。総合理学療法学概要について、投稿数は増加傾向であるがリジェクト数も多いため採択率を70%以上に安定させたいこと、雑誌の認知度が上がり大阪府外からの投稿数が増加してきているが大阪士会会員からの投稿数を増やしたいことの報告があった。また投稿数を増やすための取り組みとして、大阪府理学療法学術大会における優秀な演題に対して、雑誌への投稿を促すことを継続していくと共に、卒業論文、修士論文の投稿を促すことも検討していると報告があった。さらに総合理学療法学の強みとして掲載料無料であること、認定・専門理学療法士更新として利用可能であること、理学療法に関することであれば分野を選ばないこと、フリーダウンロード可能であることの周知を徹底することも報告された。また、今後も原著論文、症例報告を主体とした雑誌とし、商業誌との差別化を図ること、査読規定を見直し、査読委員会査読規程を改定（令和6年3月13日）したことが報告された。

ウ 第38回大阪府理学療法学術大会長公募案内について

都留理事より、令和8年開催予定の第38回大会の大会長について、東支部からの選出となり、令和6年5月20日（月）～7月31日（水）の期間で大会長の公募を行うことが報告された。

（3）審議事項

ア 第1回3士会合同研修会への学生参加について

鈴木理事より、第1回3士会合同研修会へ学生の参加希望があった場合の対応について3士会合同研修会準備会での検討内容が報告された。1つ目に本研修会はPT・OT・STの3職種での交流を目的としているために、学生への積極的なアナウンスは行わないこと、2つ目に学生からの参加希望があった場合には、今回は無料とすること、3つ目に今年度の研修会で学生の参加が一定数ある場合には、次年度より会費の徴収を検討すること、以上の提案がなされた。

射場理事より、将来的には一般市民に参加してもらうことを前提とすると、来年度以降、学生

は一般市民として申し込みがあるかもしれないことを想定すると今年度の参加費を無料にすることは妥当であるとの意見があった。鈴木理事から、今年度の学生の参加人数が一定数以上になれば、次年度以降については参加費を検討する必要があることも報告された。以上の質疑の上、異議無く、承認された。

イ 第6回定時総会開催について

井阪副理事長より、第6回定時総会の開催について、日時・開催場所・議案について報告された。第1号議案令和5年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件では、収入として事業収益が2,000万円を超え前年比800万円増額であること、一方で支出は前年度比増減が少なく残高が多いことが報告された。第2号議案令和6年度事業計画書及び収支予算書承認の件では、事務所の移転を想定して地代家賃として月額20万円（12か月分）を計上していることが報告された。第3号議案理事選任の件では、本田先生を理事の選任として諮る。令和5年度会計監査報告については、千葉監事より、努力の成果として府士会会費の減額達成に寄与できたことは評価が高く、今後も会員サービスの向上に努めてもらいたいこと、大阪府理学療法学会大会では市区町村士会を巻き込み、大会規模が充実してきたことで、近畿圏のハブ的役割を担い、更なる大会規模の充実に努めてもらいたいこと、府士会と共同使用する士会事務所は利用に応じた費用負担に努めてほしいことや、一般会員も利用できる開かれた会館であってほしいこと、収益事業の展開によって正味財産残高が高額になりつつある為、将来設計のもと生涯学習センターの環境、会員サービスなどについて継続して努めてもらいたいことについて報告された。また外部監査の先生方からも貴重なご意見を頂き、充実した監査となったことも報告された。以上の内容について、異議無く承認された。本3議案については第6回定時総会に諮ることとする。

ウ 令和6年度前期開催市区町村士会主催研修会の開催申請について

工藤理事より、門真市理学療法士会から令和6年度前期開催市区町村士会主催研修会の申請があったことについて報告された。本件は昨年度末に初回受付を行ったが内容に不備があり、修正分が再度提出されたこと、期限を大幅に超過しているが、一旦受け付けしていた経緯もあり、今回に限り修正後の提出を受け付けすることとし、門真市理学療法士会には以後期限を遵守するよう注意していることが報告された。以上について異議無く、承認された。

第1回合同会議

都留理事より第38回学会大会の大会長の公募について説明があった。第38回は東支部の担当となり、広く周知するため市区町村士会 ML を通じて公募の通知を行うことを確認した。

井阪副理事長より次回から府士会アンケート調査実施の際には、センターにも声を掛けてもらい合同で実施することを合同理事会にて要望することとした。